



# かめっ子

学校だより 5月号  
令和6年 5月1日  
足立区立亀田小学校  
校長 大井 欣一

## まっすぐに 正直に

副校長 竹田 あい

新年度が始まって1ヶ月が経ちました。新しい仲間、新しい担任、新しい教室、新しい教科……。たくさんのどきどきがぎゅっと詰まった4月が終わり、子供たちはのびのびと個性を発揮できるようになってきました。

亀田小学校の子供たちを見ていると、毎日が感動の連続なのですが、その中でも最近特にうれしかったことをお伝えしたいと思います。

休み時間、校庭で、ボールを持った高学年の子に声をかけられました。

「副校長先生、あの・・・」

少し、言い出しづらそうにしています。

「どうしたの」

と聞くと、

「ボールをチューリップの植木鉢に当ててしまって、花が落ちてしまいました」

と、とても申し訳なさそうに話し始めました。チューリップは、二年生が、新しく入学してきた一年生のために育てて飾ってくれていたものでした。入学式ではきれいに咲いていましたが、この頃はほとんどが枯れてしていました。その子がボールを当ててしまったという植木鉢も、もう花は終わっていたのですが、そんなことは彼には関係のないことでした。

「二年生のですよね・・・」

と、しょぼんとしています。彼のあまりの落ち込みのように、私も切ない気持ちになって植木鉢のネームプレートを見ると、偶然にも教員が予備で育てていたものでした。だからといって罪悪感がすっかりなくなったわけではないようですが、それを伝えるとその子は少しだけほっとした顔になりました。

「本当にすみませんでした」

と何度も頭を下げる彼に

「大丈夫だよ。正直に話してくれてありがとう」

と伝えると、ようやく笑顔になってみんなのところに戻っていきました。

誰が見ていたわけでもありません。誰かに注意されたわけでもありません。それでも彼は、自分のしたことが誰かを悲しませるかもしれないと思い、勇気を出して話してくれたのです。優しさと下級生への思いやりにあふれた、まっすぐで正直なその子の行動に、私は心を打たれました。

「どんなに上手にごまかしても、一人だけ絶対にだませない人がいる。それは自分だよ」という、自分が小学生のときの担任の言葉が頭に浮かびました。誠実であることは、毎日を明るく清々しく生きていく上で、とても大切です。亀田小学校の子供たちが、そのような心で生活していることをうれしく思います。これからもまっすぐに育ててほしい、その手助けをしていきたいと強く感じた出来事でした。

